

水系

密着

防錆

マルチアクアエポ

2液水系エポキシ樹脂系マルチプライマー

水系で臭気も少ないため、集合住宅や工場・倉庫など溶剤を使えない環境や臭気配慮が求められる施工環境に最適な水系下塗材です。

幅広い下地適正があり、防錆性を持つため水系上塗りと合わせて、鉄部でも“オール水系仕様”で塗装ができます。

特長1

幅広い下地への適用性

- 内外部壁面・屋根材・付帯部・無機系／有機系塗膜など、多様な下地・用途に対応できる水系下塗材です。
- 水系でありながら高い防錆性を発揮し、鉄部・金属下地を保護します。

適合下地一覧

下地の種類		適性	下地の種類		適性
新設下地	コンクリート・モルタル	○	窯業サイディング	通常塗装	○
	P C 板	○		ふっ素塗装	○
	押出成形セメント板	○		親水表面処理	○
	鉄部	○		光触媒	○
	ステンレス	○	金属サイディング	ポリエステル塗装	※
	ガルバニウム鋼板	○		ふっ素塗装	※
	溶融亜鉛メッキ鋼板	○	旧塗膜 (水系・弱溶剤系)	アクリル樹脂塗料	○
	電気亜鉛メッキ鋼板	○		ウレタン樹脂塗料	○
	硬質塩化ビニル	●		シリコン樹脂塗料	○
	F R P	○		ふっ素樹脂塗料	○
○：適用下地 ●：目荒らし必要			屋根	鋼板（塗装板）	※
				アスファルトシングル	○

○：適用下地 ●：目荒らし必要

※ 金属サイディング・屋根金属鋼板の表面には、密着しにくいコーティングが存在します。
表面目荒し後、試験施工にて密着性を確認してから本塗装を行ってください。

高密着メカニズム！

エポキシ樹脂 × 硬化剤 により “強固な塗膜” を形成。

付着補強成分との相乗効果により、金属を含む幅広い下地へ適用できます。

特長2 水系でありながら 弱溶剤塗料相当の防錆性

防錆顔料を最適な比率で配合することで、
従来の弱溶剤系さび止め塗料相当の
防錆効果を発揮します。

試験片 冷間圧延鋼板 (SPCC-SB)
試験方法 サイクル腐食性試験 120 サイクル
(JIS K 5600 7-9 サイクル D 条件)

サイクル腐食性試験

マルチアクアエポ



弱溶剤系さび止め塗料



標準施工仕様

(23℃)

工 程	材料・荷姿	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
素地調整	各下地に適した素地調整を行ってください。さびが発生している場合はディスクサンダー等の動力工具を主体としてワイヤーブラシ、サンドペーパーを併用してさびを入念に除去してください。				
下塗り	マルチアクアエポ 主 材: 14kg 硬化剤: 1kg 清 水: 0~1.0L	はけ ウールローラー エアレススプレー等	1~2	工程間 6~168 工程内 4以上	83~93㎡/15kg 0.16~0.18kg/㎡
上塗り	各種 水系・弱溶剤系上塗材				

- 注1 施工用具・条件は代表的なものです。
注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
注3 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。
注4 可使時間は3時間以内 (23℃) です。
注5 さびが浮いてきた場合はペーパーでさびを除去し、マルチアクアエポで補修塗りしてください。
注6 吸い込みの多い下地やさび発生面、エッジ部分に関しては、マルチアクアエポで増し塗りをしてください。
注7 弱溶剤塗料で上塗り塗装する場合は、下塗り後、16時間~7日を目安に乾燥期間を取ってください。

荷 姿

マルチアクアエポ

主 材 NET 14kg/缶
硬化剤 NET 1kg/ポリ容器

色 調

ライトグレー (日塗工: N-87近似)

用 途

- 内外壁、屋根材、付帯部、一般建築物の鉄部、金属部位の新設及び改修用下塗り
- 住宅、集合住宅、商業施設、工場、倉庫など臭気配慮が求められる建物の塗装
- 水系上塗材との組み合わせによる水系システム仕上げ (アクアフラット 等)



注意点

施工上の注意事項及び安全衛生上の注意事項をご確認の上、施工ください。
各製品ごとの注意事項については、ダウンロードサイトよりご確認ください。

kikusui ダウンロードサイト

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び
標準施工仕様書をご確認ください。



菊水化学工業株式会社 本 社

☎ 052-300-2222 (代)

ホームページ > <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



札 幌 ☎ 0133-62-5580
仙 台 ☎ 022-706-5710
北 関 東 ☎ 0280-98-5232
東 京 ☎ 03-3981-2500
横 浜 ☎ 045-595-1550
新 潟 ☎ 025-364-6066

金 沢 ☎ 076-225-5623
松 本 ☎ 0263-30-1562
静 岡 ☎ 054-655-5150
名古屋 ☎ 0568-69-5200
大 阪 ☎ 06-7668-5320
岡 山 ☎ 086-244-3711

広 島 ☎ 086-244-3711
福 岡 ☎ 092-433-6262
鹿児島 ☎ 099-299-1500